

登録コード	E9062400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	宮地 弘一郎
英文授業名	Graduation Study					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4
講義室	教育研究室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	特別支援教育コース
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				特別支援教育研究に関する先行研究や最新の動向を分析し、課題を整理することができる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				・障害児心理学・生理学・病理学の研究法に関する知識・技能を備え、それらを応用できる。 ・特別支援教育に関する研究課題（主に障害児の心理・生理・病理に関する内容）を設定し、遂行できる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働、健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	特別支援教育についての問題意識を整理し、自らが研究課題を設定し、様々な方法論を模索・構築し、データ等を分析して結論を導くという一連の研究活動を経験する。主に生理心理学の手法を用いた研究を行う。 研究室において定期的にゼミ活動を実施しディスカッションをするとともに、調査方法・分析方法・統計処理の方法等について演習する。 これらの活動をおとして、以下のことを習得する。 ・研究課題を自らの力でみつけることができる。 ・研究課題の周辺にある先行研究の実態を調べてまとめ、課題を整理することができる。 ・研究課題にアプローチするための研究方法について調べて、活用することができる。 ・得られたデータ等を分析し、客観的にまとめることができる。						
(5)授業計画	○ 4 年次前期までの定期的なゼミ活動 ・研究活動の意味を理解するためのディスカッション ・研究課題の設定に関するディスカッション ・研究方法（調査項目の作成方法、調査・実験計画、データ分析・統計処理の方法等）の演習 ・調査の実施 ○ 4 年次後期における個別指導 ・調査の実施（前期からの継続） ・先行研究の分析 ・データ分析 ・考察 ・論文作成・提出（1 2 月末まで） ・発表抄録およびポスタープレゼンテーション資料作成（1 月） ・卒論発表会（審査会）でのプレゼンテーション（2 月上旬） 期末に授業アンケートを行う						
(6)成績評価の方法	卒業論文作成プロセスにおける取り組みの態度と論文の達成度(70%)、抄録の完成度とプレゼン能力(30%)から総合的に評価する。						
(7)成績評価の基準	・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。 学士レベルの研究遂行能力が習得できていれば「水準にある」とみなす。さらに、文献研究、実験・調査の遂行、情報の整理とプレゼンテーション、の能力の習熟度から、～ のうち1つ習熟していれば「やや上にある」、2つ習熟していれば「かなり上にある」、3つ全て習得していれば「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	授業時間以外の時間の自律的な調査、研究実施、データ分析、およびこれらの経過における担当教員との個別演習が必要。						
(9)履修上の注意	本授業は原則としてゼミ4年生を対象とする。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問・相談等がある場合はメールで対応する（アドレスは時間割表に記載）。研究室訪問は常時受け付けるが、なるべく事前に訪問日時を相談すること。						
【教科書】	特になし						
【参考文献】	授業の中で適宜紹介する。						